

鉾子支部組合員の皆さんに訴えます！

日刊 動労千葉

79.4.23

No. 97

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五八〇九・（公衆電話）二二七二〇七

動労千葉に暴力的襲撃をかえす動労本部暴力集団

鉾子支部組合員の皆さん！

動労中央本部暴力集団は、連日にわたって「オルグ」と称して動労千葉の解体と組織破壊のために各支部に押し入り、暴力の限りをつくしています。

特に、去る四月一七日には、津田沼支部に対し暴力的襲撃を行ない、十数名の支部役員に対し、テロ・リンチを加え、全身打撲の重傷を負わせ、片岡支部長は今も入院しているという断じて許すことのできないろうぜきを働きました。

団結署名・支部結成大会がずっと続かちとられています！

鉾子支部組合員の皆さん！

こうした中央本部の暴力的襲撃に対し、四月十八日、津田沼支部の結成大会の圧倒的成功をかわきりとして、十九日、館山支部結成大会、二一日新小岩支部は六〇〇名余の暴力的破壊集団の襲撃を全支部の応援の中で粉砕し結成大会を圧倒的にかちとりました。

そして、今月中に続々と各支部結成大会が予定されています。

さらに、動労千葉の団結署名は、中央本部暴力

集団の敵対と妨害をはねのけ、津田沼、幕張、千葉、木更津、館山、勝浦、成田の各支部では、はぼ一〇〇パーセントであり、新小岩支部では結成大会を期して取組みが開始されています。

このように、中央本部暴力集団による破壊行動が行なわれれば行なわれるほど、逆に各支部の団結がますます強固にかちとられているのです。

このことは、正義が動労千葉の側にあり、中央本部暴力集団の側には一片の正義もないことを明らかにしています。

「山田鉾子支部長」らの反組織的行動を弾劾する！

鉾子支部組合員の皆さん！

ところが、鉾子支部執行部、とくに山田支部長は、去る四月十四日、鉾子支部に出向いた関川委員長に対し、公然と「動労千葉につくことは出来ない。鉾子支部は動労本部につく。」といったはなつたのです。

これまで、山田支部長は千葉本部からの「オルグに入りたい」という意向に対し、常に、「鉾子は執行委員会と千葉と一緒にやっていくことを決

定しており、いづれにしても一本にまとまって行動するから」といつてことわってききました。

千葉本部は、山田支部長をはじめとする鉾子支部執行部を信頼し、支部の運営について干渉がましいことは一切してきませんでした。

しかし、山田支部長は、関川委員長に対し、突然、動労千葉から離反し、「本部」につくことを公言したのでした。

松崎が直接、鉾子支部の攪乱にのり出した！

そして、山田鉾子支部長をはじめとする数名の

役員の最近の行動には、全く理解しがたいことが再三あったのです。

4月6日

・ 山田支部長以下数名が4月2日の支部執行委員会の決定をやぶって「本部」につくことを「確認」

4月7日

・ 職場集会を臨時大会に切り替え、動労千葉につくことを拒否（千葉本部には臨時大会にきりかえたことをごまかしていた。）

・ 鉾子京成ホテルで松崎（東京地本）他数名と山田支部長らが密談（この時松崎は、百万

単位の金を渡そうとした）

4月9日

・ 成田線久住駅事故現場に山田支部長と松崎、小谷、今井らが一緒に現われる。

このように四月に入って、急速に鉾子支部の動きがややしくなり、鉾子京成ホテルには四月七日前後数日間松崎が宿泊し、久住駅事故をも積極的に利用しつつ、鉾子支部の攪乱と組織破壊策動を直接行なっていたことが明らかとなっています。

鉾子支部組合員の皆さん！

今こそ、一部の役員の反組織的行動にふりまわされることなく、動労千葉一四〇〇組合員と共に前進しようではありませんか。